

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.345
2020.6.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.net
発行責任者 西崎光子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や努力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

東京・生活者ネットワーク 都政担当政策委員
元調布市議会議員



ドウマンジュ 恭子

きょうこ



<https://doumenge.seikatsusha.me/>

ドウマンジュ恭子 profile

1957函館市生まれ。北海道立函館西高校卒業。93～95北多摩3区公民館講座「女の暮らしと教育」から自主グループを立ち上げ、活動。95調布市に転居。食の安全、環境保全を求めて生

活クラブ生協で活動。97「ワーカーズ・コレクティブ クイーンズ」に参加、安全で信頼の食を提供。後に理事。99～2004小・中学校PTA役員。07～15調布市議会議員2期。総務委員会、調布飛行場等対策特別委員会など。07～15東京・生活者ネットワーク子ども部会(09～12 部会長)16～東京・生活

者ネット政策委員。子育てネットkonokono、野川流域連絡会、若者の再出発を支えるネットなどで活動。
●整体師、健康管理士
●家族:夫(フランス人在日34年)、娘、息子 調布市在住

●7月5日は東京都議会議員補欠選挙の投票日です(期日前投票は6月27日～7月4日)。

都議会ネット

■緑確保の総合的な方針(改定案)、「東京都ソーシャルファームの認証及び支援に関する指針案」策定。

■東京都知事選挙告示:6月18日、東京都議会議員補欠選挙(大田区/北区/日野市/北多摩第三[調布市・狛江市])告示:6月26日。投票日は7月5日。

都政に新しい風を! 女性の声は新しく強い力

都議補選2020 北多摩3区[調布市・狛江市] ドウマンジュ恭子を都政に送り出そう!

東京・生活者ネットワークは、7月5日に行われる東京都議会議員補欠選挙北多摩3区[調布市・狛江市]にむけて、新人のドウマンジュ恭子(元調布市議)の擁立を決定しました。パンデミックを生きる今こそ生活都市東京の実現が求められています。都政に市民の議席を確保するために、選挙戦をたたかいます。

スから高齢者の命を守る緊急要望」を初回に、刻々と変化する状況の下、都知事に申し入れを行ってきました。一人ひとりの「命」と「生活不安」に向き合い、居住支援、就学支援、給付型所得保障を確実にし、誰をも取りこぼさない対応が、いま東京都に求められています。医療や救急(消防)など現場を持つ東京都は、対策に苦慮している地域の声を聞き、現場に即した施策を機動的に実施することが必要です。

都政に新しい風を! 女性の声は新しく強い力——生活者ネットワークは7月5日に行われる北多摩3区都議補選を勝ち抜き、東京から、市民主権が行きわたる政治を前へ進めます。

都議補選2020 ドウマンジュ恭子の提案

- 新型コロナ 給付型所得保障で命と生活を守る
- 医療崩壊を止める! 保健所機能と職員の拡充を
- 水害対策、避難所の感染症対策を徹底する
- 子どもが真ん中! 若者が希望をもてるまち・東京へ
- 多様性が社会を強くする! ジェンダー平等を達成する
- 都議会改革! 必要なのは働く議会・働く議員



●左から、生活者ネットの、木下やすこ調布市議会議員、ドウマンジュ恭子都政担当政策委員、山内れい子都議会議員、まつざき淑子狛江市議会議員

民主主義が劣化し、政治への信頼が揺らいでいます。新型コロナウイルス感染症は、弱い立場にある人々があつという間に仕事も住居も失い、命の危機に瀕している状況をつくり出しました。危機に直面する今だからこそ、私たちは、市民政治を深化させ、誰のための政治なのかを明確に示さなければなりません。

生活者ネットワークとドウマンジュ恭子は、都議会での質問や3月4日に発出した「新型コロナウイルス

●ドウマンジュ恭子さんを応援します

中川李枝子 児童文学作家

ドウマンジュ恭子さんは、普通の日常を通して、真剣に考え、懸命に学び、地道に行動する、まさに生活者ネットワークの実力ある一員です。東京都民一老・若・子ども——一人一人の命の安全と安心、全世界の平和を守るという大きなお役目に最もふさわしい女性であると私は信頼と期待をこめて応援します。

佐藤かおり 女性と人権全国ネットワーク共同代表

私は、長くDVや性暴力被害者の支援に関わってきました。性に基づく暴力は、男女の不均衡な力関係から生み出された構造的な暴力です。ドウマンジュ恭子さんには、ジェンダーの視点に立ち、暴力や貧困など複合的な困難を抱えた女性や子どもの声をすくい上げ、だれもが生きやすい暮らしを実現するために、ぜひ、活躍していただきたいと思います。

山田 真 八王子中央診療所 小児科医

2011年の大震災と原発事故、そして2020年のコロナ大流行。危機に際してこの国では弱者を切り捨てる政治が行われます。このような政治に対して市民がとりわけ女性が声を上げなくてはなりません。ドウマンジュさんに期待をかけます。

堀 利和 視覚障害者・元参議院議員

障害者基本法第一条(目的)には「全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現……」とあります。この理念を生活の場に! そのための政治。生活者ネットワークのドウマンジュ恭子さんに期待します。

天笠啓祐 ジャーナリスト

認定NPO法人まちぼつと理事
東京CPB(コミュニティパワーバンク)理事長
NPO法人市民シンクタンクひと・まち社代表理事
東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合理事長
NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長
法政大学教授
脱原発政治連盟「緑茶会」代表
早稲田大学名誉教授
在宅福祉サービスNPO理事長
シンクタンク「国民投票広報機構」代表/元慶應義塾大学講師
中央学院大学教授/元我孫子市長

増田和美 消費者団体役員

三木由希子 NPO法人情報公開クリアリングハウス
山内れい子 東京・生活者ネットワーク都議会議員
安部たかね 元調布市議会議員
八木あきこ 元調布市議会議員
佐々木貴子 元狛江市議会議員
池座俊子 元狛江市議会議員
二宮ようこ 前調布市議会議員
山本あき子 前狛江市議会議員
木下やすこ 調布市議会議員
まつざき淑子 狛江市議会議員

●東京・生活者ネットワーク ドウマンジュ恭子の活動を紹介します。

Information

止めよう辺野古新基地建設! 辺野古裁判勝利! 6・22首都圏集会

6月22日(月)18:30~20:30 日本教育会館一ツ橋ホール(神保町駅) 映像メッセージ:
シルビア・アール、連帯メッセージ:玉城デニー、講演:金平茂紀、桜井国俊(スカイフ)
800円 主催:「止めよう!辺野古埋立て」国会包囲実行委員会/戦争させない・9条壊す
な!総がかり行動実行委員会 090-3910-4140 / 03-3526-2920

東海第二原発、再稼働工事はやめよ! 日本原電本店抗議

7月1日(水)17:00~17:45 日本原電本店前(末広町駅、秋葉原駅) 共催:とめよう!
東海第二原発首都圏連絡会/再稼働阻止全国ネットワーク 070-6650-5549

東京電力は福島原発事故の責任をとれ! 第82回東電本店合同抗議

7月1日(水)18:30~19:30 東京電力本店前(新橋駅、内幸町駅) 呼びかけ:経産省
前テントひろば 070-6473-1947 / たんぼほ舎 03-3238-9035

NO! 辺野古新基地 防衛省前抗議・申し入れ行動

7月6日(月)18:30~ 防衛省前(市ヶ谷駅、四ツ谷駅) 主催:辺野古への基地建設を許
さない実行委員会 090-3910-4140

多摩地域では、発表された感染者数が極めて低く、PCR検査の実施数が非常に少ないためではないかと指摘されていた。実際、感染が疑われる人がたらい回しになり、検査がなかなか受けられない状況が続いていた。感染の疑いや不安を抱える市民に、PCR検査を実施できる体制を、地域の医師会の協力のもと、自治体ごとに設置するよう、都の支援を求めた。

東京都医師会は自治体と地元医師会とが連携し、PCR検査センターを設置すると発表。府中、

●東京・生活者ネットワーク第22回定期大会は、3月7日を予定していましたが、延期を経て4月28日、書面議決によって活動方針を決定しました。来年の都議選にむけては、議席増をめざし全生活者ネットワークで取り組むことを確認しました。代表委員に、山内玲子(新任・都議会議員:国立/国分寺)、渡部真実(新任・町田市議会議員)、小西美香(新任・清瀬市議会議員)の3人、事務局長に武内好恵(再任・多摩ネット)が信任されました。

東京・生活者ネットワーク

都議会REPORT



都議会第2回定例会 5832億円の補正予算案出される 新型コロナ 緊急事態宣言延期

東京・生活者ネットワーク都議会議員

山内れい子 [国立市・国分寺市]

5月6日までを期限に全国に出されていた緊急事態宣言が5月31日まで延期された。それを受け東京都は、延長等に係る補正予算449億円を専決処分。区市町村立学校のオンライン学習等の環境整備のために学校配備端末を緊急貸出、生活福祉資金貸付事業補助など。さらに6月議会に5832億円の補正予算案が出される。これまでも合わせて、2020年度の補正予算は総額1兆円を超える。

生活者ネットワークは、対策に苦慮している地域の声を聞きながら、現場に即した施策を機動的に実施するよう都に求めてきた。

NPOも 感染拡大防止協力金の対象に

都の休業要請等に協力する中小事業者に支給される協力金(1店舗50万円、2店舗以上100万円)の対象に、当初NPO法人が外されていた。生活者ネットワー

クは、NPO法人は、高齢者・障がい者福祉や子育て、リサイクルや国際協力など、社会に必要な機能を担い、地域で重要な事業を担っていることから、NPOも対象にするよう緊急要望。対象に追加された。

PCR検査センター 医師会の連携で多摩地域でも実施

多摩地域では、発表された感染者数が極めて低く、PCR検査の実施数が非常に少ないためではないかと指摘されていた。実際、感染が疑われる人がたらい回しになり、検査がなかなか受けられない状況が続いていた。感染の疑いや不安を抱える市民に、PCR検査を実施できる体制を、地域の医師会の協力のもと、自治体ごとに設置するよう、都の支援を求めた。

国立、国分寺、小金井の医師会が共同で、都立多摩総合医療センター敷地内に設置、かかりつけ医を通じ完全予約制で開始されることとなった。

また、多摩地域では、無症状・軽症者用のホテルが確保されていなかったため、ホテルを確保するよう求め、ようやく八王子市内のホテルが確保された。

医療機関、介護・介助支援施設へマスク等の配布を

医療機関、高齢者・障がい者を介護・介助する事業所では、マスク・消毒液・防護服など医療資材の不足が切実になっていったため、3月4日緊急要望。都は、区市町村を通じて配布を実施。今後は、一日も早く災害対策に感染症対策をしつかり位置づけることが必要だ。

DV、児童虐待 ネットカフェ難民、雇止めなど 社会的弱者への支援

長引く在宅によるストレス等が引き金となるDVや児童虐待、性暴力の増加、潜在化に対し、相談窓口の体制強化は必須である。またネットカフェ難民等住宅喪失者への一時住宅等の提供についても、相談体制の柔軟化、手続きの簡素化が求められている。「住まいは人権」であることから、引き続き居住支援の強化を求めていく。

市民が育てる景観まちづくり 甦った赤い三角屋根の旧駅舎 — 国立発



国立・生活者ネットワーク市議会議員
古濱 薫
こはまかおる

保存派VS破壊派 議会の壁を越えて、駅舎は市の有形文化財に

今、国立駅からまっすぐ南に延びる大通りに立って駅を眺めると、高架化された駅の前にもまるで玩具シルバニアファミリーのお家のような、赤い三角屋根の可愛らしい建築物が見える。2006年に解体・保存されていた旧国立駅舎の再建がこの2020年4月に完了し、市民が活用できる場としてスタート、6・7日と公開された(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は閉鎖している)。国立駅で80年間行き交う人々を見つめてきた駅舎は、14年間の空白を経て生まれ変わり、今どんな気持ちで国立の景色を眺めているだろうか。

いまま2006年、駅舎は市の有形文化財に指定され、解体・保管されることが決まった。生活者ネットワークは一貫して駅舎保存の立場で、市民参加のまちづくりを掲げ、2004年の景観法施行のきっかけともなった国立の景観問題で市民と連携して活動した。大通りと円形広場・国立駅舎の景観は一体のものであり、歴史的建造物が街に溶け込んだ暮らしを守りたいという市民の強い願いがあったからだ。

2009年策定された「国立駅周辺まちづくり基本計画」は、「まちとつながる、緑と文化のくにたち広場」を謳い、旧駅舎は人々の交流を生み出す市民活動の場所として活用されると記された。

再築された旧駅舎 市民・若者の活用拠点に!

生活者ネットワークが市民と共に行ったシンポジウムや都政フォーラムでは、各地で活躍する専門家を交え、多くの市民の



自由に弾けるピアノも。市民、若者らの自由な発想で活用される日を待つ旧国立駅舎内

生活者ネットワークが市民と共に行ったシンポジウムや都政フォーラムでは、各地で活躍する専門家を交え、多くの市民の意見を生かして、自由な発想で活用される日を待つ旧国立駅舎内。自由に弾けるピアノも、市民、若者らの自由な発想で活用される日を待つ旧国立駅舎内。



1926(大正15)年創建当時の姿で甦った赤い三角屋根の国立旧駅舎

都政 NOW 区市とつなぐ

編集後記/ほとんどの集会やデモが3月から中止になっている。それでも、定例の街頭行動を続けている市民グループがある。毎月第1水曜は、日本原子力発電本店抗議と東京電力本店抗議。第1水曜は、辺野古新基地建設や南西諸島への自衛隊配備に抗議する防衛省前。なにより、毎日座り込みを続けている。原発再稼働反対経産省前テントひろば。毎週水曜には、原子力規制委員会抗議行動が取り組まれているが、5月13日、原子力規制委員会は、青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場の適合性審査で合格を出した。大量の放射能を海に空に放出し、危険なプルトニウムを生み出す、六ヶ所再処理工場の稼働を容認することはできない。/コロナ禍、緊急事態宣言の下で不条理極まる悪政が隔々まで行きわたる。安倍自公政治にこそ決別の声! (上坂)